

平和への願いを託す

新宮市立城南中学校
(中田善天校長、生徒181人)で3日、千羽鶴受け渡し式があった。各クラスが平和のメッセージを発表し、修学旅行で東京都の東京大空襲戦災資料センターなどを訪れる2年生に鶴を託した。

生徒らは授業や空き時間を使い、7月ごろから1人約6羽ずつ鶴を折った。平和学習の一環で、同校の思いを伝えようと取り組んだ。同校2年生の55人は6月、修学旅行の事前学習で平和と各場所の歴史や土地の由来を調べ、ガイドブックなどを作成する授業を受けている。

中田校長のあいさつの
お勧めしたい。

(更田敏明)

後、各クラスの代表が「世界で戦争がなく平和で当たり前の生活が続きますように」「互いに傷つけ合わず思いやりを持ち認め合える平和な世界を目指す」「いつまでも世界の人々が笑顔でいられますように」などと平

和のメッセージを読み上げながら、折った鶴を2年生代表で修学旅行実行委員長の板谷観来さんに手渡した。

板谷さんは「1年生から3年生まで、皆さんが一生涯懸命折ってくれた鶴なので、責任を持って届けたい」と話していた。

(榮本康人)

城南中で千羽鶴受け渡し式



千羽鶴を手渡す生徒ら = 3日、新宮市立城南中学校